

研究に関するお知らせ

(研究の名称：動脈硬化の評価における超音波検査によるアキレス腱厚測定の有用性に関する後ろ向き観察研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病・内分泌代謝科および総合内科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

動脈硬化は加齢、糖尿病、脂質異常症、高血圧、喫煙など様々な要因により進行し、心筋梗塞や脳梗塞など命に関わる病気につながります。そのため、動脈硬化を的確に評価し、その進行を予防することは非常に重要です。

家族性高コレステロール血症 (FH)は遺伝性にLDLコレステロールが著明な高値を示す疾患です。FHの患者さんではアキレス腱が厚くなることが知られており、通常はX線検査でアキレス腱の厚さを測定します。近年、放射線被爆がない超音波検査を用いてアキレス腱の厚さが測られるようになりましたが、X線と比べてその有用性は十分確認されておりません。

また、アキレス腱の厚さを測ることで動脈硬化の程度が分かる可能性もあると考えられておりますが、本当に有用かどうか、という点は検討されていません。そこで、超音波検査で測定したアキレス腱の厚さと、X線や様々な動脈硬化のリスク因子、動脈硬化の指標との関連を検討することがこの研究の目的です。

そこで、本研究では超音波検査でアキレス腱の厚さを測定した患者さんを対象に、超音波検査やX線を含む画像検査、これまでの病歴、血液検査、尿検査、処方内容などの情報をカルテより収集し、その関連について検討します。

■研究期間

2021年1月8日～2022年3月31日

■研究の対象となる方

2018年11月1日～2020年10月31日までの間にアキレス腱超音波検査を行った患者さん。

■研究に用いる試料・情報の種類

血液・尿・画像の検査結果、合併症、身体所見など。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただく

ことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病・内分泌代謝科 勝山 修行

■お問い合わせ先

実施機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院
所属・役職	糖尿病内分泌代謝内科 医長
担当者氏名	勝山 修行
電話番号	047-372-3501 (代表) 受付日時：月曜～金曜 9:30～17:00